

抗血小板薬・抗凝固薬の休薬期間一覧(赤字は院内採用薬)

分類	No.	先発医薬品名	後発医薬品名	休薬期間
抗血小板薬	1	プラビックス	クロピドグレル	14日間
	2	エフィエント		
	3	コンプラビン配合錠	ロレアス配合錠 (クロピドグレル75mg/アスピリン100mg)	
	4	パナルジン	チクロピジン	10～14日間
	5	アスピリン	アスファネート ニトギス バファリン※	7日間
			バッサミン バイアスピリン ファモター	
	6	キャブピリン配合錠		
	7	タケルダ配合錠		
	8	ブリリント		5日間
	9	プレタール	シロスタゾール	2日間
抗凝固薬	10	ワーファリン	ワルファリンK	5日間
	11	プラザキサ		
	12	エリキュース		3日間
	13	イグザレルト	リバーロキサバン	2日間
	14	リクシアナ		
EPA製剤	15	エパデール	イコサペント酸エチル	7～10日間
	16	ロトリガ	オメガ-3脂肪酸エチル	
冠血管拡張薬	17	ペルサンチン	ジピリダモール	2日間
	18	ロコルナール	トラピジル	1日間
	19	コメリアンコーワ	ジラゼブ	
プロスタグランジン製剤	20	ケアロードLA ドルナー プロサイリン ベラサスLA	ベラプロストNa	1日間
	21	オパルモン	リマプロスト	
その他	22	アンブラーグ	サルボグレラート	1日間

麻酔科術前外来受診患者、入退院支援センター対応患者について担当医より指示のない場合には、『抗血小板薬・抗凝固薬の休薬期間一覧』のうち、EPA製剤、冠血管拡張薬、プロスタグランジン製剤、その他の薬剤について、院内規程に沿って休薬するよう説明させていただくことがあります。

抗血小板薬・抗凝固薬の休薬期間一覧索引(赤字は院内採用薬)

行	商品名	No.
ア行	アスピリン	5
	アスファネート	5
	アンプラーグ	22
	イグザレルト	13
	イコサベント酸エチル	15
	エパデール	15
	エフィエント	2
	エリキュース	12
	オパルモン	21
	オメガ-3脂肪酸エチル	16
カ行	キャブピリン配合錠	6
	クロピドグレル	1
	ケアロードLA	20
	コメリアンコーワ	19
	コンプラビン配合錠	3
サ行	サルポグレラート	22
	ジピリダモール	17
	ジラゼプ	19
	シロスタゾール	9
タ行	タケルダ配合錠	7
	チクロピジン	4
	トラピジル	18
	ドルナー	20
二行	ニトギス	5

行	商品名	No.
ハ行	バイアスピリン	5
	バッサミン	5
	パナルジン	4
	バファリン	5
	ファモター	5
	プラザキサ	11
	プラビックス	1
	ブリリント	8
	プレタール	9
	プロサイリン	20
	ベラサスLA	20
	ベラプロストNa	20
	ペルサンチン	17
ラ行	リクシアナ	14
	リバーロキサバン	13
	リマプロスト	21
	ロコルナール	18
	ロトリガ	16
	ロレアス配合錠	3
ワ行	ワーファリン	10
	ワルファリンK	10

備考：

東京医療センター薬剤部2025年8月作成

添付文書、抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン(2016年9月発行)などを参考に、麻酔科、泌尿器科と合意の上、対象薬剤、休薬の日数を設定している。記載対象は、薬価収載薬剤と経過措置より5年以内の薬剤とし、経過措置より5年以内の薬剤は※印を付している。経過措置薬はSAFE-DIの情報を元に抽出している。休薬期間の変更や新規薬剤の追加に関しては黄色のハイライトで示している。

休薬期間は、からだの深部にブロック針を穿刺した場合の安全性を考慮したもので、通常よりも長めに設定されている。

なお、この休薬期間は手術/麻酔の実施に必須というものではなく、術式や麻酔選択方法、病態、症状等により総合的に判断されうる。

2013年7月22日：第1版作成 商品名は2013年7月22日付けで薬価収載されているものを登録

2014年9月17日：第2版作成 商品名は2014年9月17日付けで薬価収載されているものを登録

2015年1月8日：第3版作成 リクシアナ錠を追加、エリキュース錠の休薬期間を修正

2015年10月20日 麻酔科確認済み

2016年8月5日：第4版作成 後発医薬品を更新、院内採用薬の製剤写真を登録

2017年2月1日：第5版作成 一般名および製剤写真を削除、先発品名と後発品名を分けて記載、ブリリント錠を追加

2018年9月11日：第6版作成 後発医薬品を更新、後発品名を50音順に並べ替え

2018年12月1日：第7版作成 東京医療センター薬剤部および作成日を追記

2020年4月13日：第8版作成 備考欄の記載を修正、経過措置医薬品について修正

添付文書、抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン(2016年9月発行)などを参考に休薬期間を修正

2020年6月1日：第9版作成 キャブピリン配合錠を追加

2021年3月13日：第10版作成 経過措置医薬品について情報更新

2022年2月6日：第11版作成

2023年3月：第12版作成

経過措置医薬品（アテロパン、イスキア、エパキャップ、エパラ、コートリズム、シスレコン、シロシナミン、シロスレット、ゼンアスピリン、ソルミラン、ナサチーム、プレトモール、ベラストリン、ペルミルチン、ホルダゾール、マイトジン、メルブラール、ヨウリダモール）を削除。後発医薬品（オメガ-3脂肪酸エチル、ロレアス）について情報更新。

記載対象を変更。薬価収載薬剤と経過措置より1年以内の薬剤とし、経過措置より1年以内の薬剤は※印を付している。経過措置薬はSAFE-DIの情報を元に抽出している。

2025年3月：第13版作成

経過措置医薬品（エパロース、プロレナール）を削除。後発医薬品（リバーロキサバン）を更新。

「麻酔科術前外来受診患者、入退院支援センター対応患者について担当医より指示のない場合には、『抗血小板薬・抗凝固薬の休薬期間一覧』のうち、EPA製剤、冠血管拡張薬、プロスタグランジン製剤、その他の薬剤について、院内規程に沿って休薬するよう説明させていただくことがあります。」を追記

2025年8月：第14版作成 経過措置医薬品（バファリン）について情報更新。